



2025年4月7日

## さわかみファンドは武者震いしています。

4月4日、4月6日の当社社長の澤上がレポートで申し上げたとおり、さわかみファンドは十数年ぶりの絶好の買いチャンスです。「絶対の結果」はお約束できませんが、私たちはこれまでの準備について絶対の自信を持っており、時の審判に耐えうる覚悟はどこにも負けません。何度も申し上げてきましたが日本企業のポテンシャルはバラ色に満ちています。そしてさわかみファンドの組入企業の多くは日本発の堂々たるグローバル企業です。今回のような混乱があるとしても世界の81億人は生活を止める訳にはいかないし、健全な欲や希望によって必ず経済は復活します。その世界の需要に対して、世の中になくてはならない商品・サービスの供給責任を果たせるのは企業しかいないのです。实体经济で踏ん張っている企業や研究者の無形資産の計り知れない将来価値について探求するたびに、ファンド仲間の皆さまの志あるご資金と有機的に結び付けて、次世代に恥ずかしくない未来の構築に寄与させていただきたい。今こそ本格的な長期アクティブファンドの出番と武者震いしているところです。私たちが三人四脚で次世代に残していきたい未来への重要な一里塚となります。是非とも皆さまの追加のお買付けをお願いします。

これまでの準備の内容ですが、1点目はいつ暴落が来ても立ち向かうための現金を多めに保持してきました。上昇相場では運用成績が伸び悩む要因となり皆さまにご不安を与えてしまう葛藤がありましたが、いよいよこの下落局面で活かします。皆さまの追加の援軍がありますと鬼に金棒です。2点目は徹底した将来予測と個別企業の詳細調査です。当社伝統の「広く、深く、遠く」発想をとばし、「推(イマジネーション)と論(ロジック)」で長期投資のアイデアを磨き込むという原則は不変。されど、コロナ禍後の社会変容、生成系AIの出現による産業の変化のスピードは皆さんも実感されているでしょう。これらに対応すべくさわかみの詳細調査の内容も進化し、将来予測の精度をブラッシュアップしました。

### 本当に必要なのは实体经济の肌触り感のある体験知性

さわかみ投信は創業時から、現在の財務の数字には表れにくい企業の将来価値を読み込む力を培ってきました。その洞察力をさらに強化するために、過去2年間のうちに大学・研究機関、海外拠点、ベンチャー・未上場企業などこれまでにない連携作り(10か所)を進め、質の高い一次情報に継続的に触れる仕組みを構築しました。ここで言う一次情報とは、国内外をリードする研究者や、企業の海外工場の現地リーダー、地域未来牽引企業の経営者の皆さんとの真剣な議論や現場見学から得られる实体经济の生の声です。实体经济へのアプローチと高度な専門家とのアイデア交換によって「広く、深く、遠く」未来を洞察する力を鍛錬しました。これこそが当社の運用調査チームしか持ちえない「体験知性」です。マスコミの報道や上場企業の決算説明資料などの情報は二次情報ですすでに株価に織り込まれているものがほとんどです。当社は一次情報=体験知性から得られた知見から大胆に将来

を「推(イメージ)」し、それをチーム内で議論し「論(ロジック)」を詰めて思索を深めます。そこで得られる未来予測がさわかみらしい、みずみずしさを持った長期投資のアイデアとなるのです。

### 体験知性強化の具体的な例

例えば国立研究所の地質学の研究者たちとの連携だけでも、世の中になくてはならない商品・サービスのアイデア交換がかなり進みました。これらのアイデアは本格的な暴落後のグローバルな実体経済のV字回復に必要な内容ですので、関連企業の将来予測とすり合わせるすることができます。

1. 防災・減災の観点で、デジタル地質図を使いこなして活断層等の情報を工場やデータセンターのBCP計画や地滑り対策に活かすこと
2. 水資源のモニタリングの観点で、地下水脈や地中熱のモニタリングによる半導体工場の持続性の確認
3. 南海トラフ地震の観点で、データのモニタリング方法を理解し正しく警戒するノウハウ
4. 社会インフラの観点で、道路の地上から非破壊で地中の上水道・下水道の老朽化を予測するサービス
5. 新素材の観点で、日本特有の粘土状分子の合成によって、熱、肥料等の脱吸着・備蓄を可能にすること
6. 農業の観点で、輸出を見据えた一次産品のブランド化における地質テロワール情報の活用
7. エネルギーの観点で、地熱・地中熱のポテンシャル計測とメタンハイドレードの可能性の把握
8. 国土強靱化の観点で、シームレス地質図による省庁間データ連携や国際標準化動向の把握

以上のように、一般には見えないところで公的機関であれ民間企業であれ、バラ色の芽のメンテナンスを究める研究者や職人がおられます。実体経済に寄り添うさわかみファンドにとって、彼ら、彼女らとの信頼の絆は貴重な無形資産となりました。

### ファンド仲間の皆さまへ

当ファンドの組入企業は本日ご紹介したような徹底調査を通じて、より豊かな未来を共に創っていくと覚悟を決めたパートナーです。強力なタッグを組んでいる企業の株価が、ボロボロに売られているのを見て見ぬふりはできません。今後、さらに株価が下がることが予測されますが、共に戦う仲間の企業を応援するため覚悟をもって行動します。日本のみならずグローバルな経済や社会の活性化は、生活者、企業、長期投資家の勇気ある自助自立の行動に委ねられていると信じています。ご賛同いただけるようでしたら、何卒、追加の応援投資をお願いします。大切に大切に、ここぞのタイミングで応援買いさせていただきます。引き続き三人四脚で力強く航海を続けていきましょう。5年後、10年後、皆さんとバラ色の笑顔で語り合えるように全身全霊をかけて戦います。

さわかみ投信株式会社  
取締役最高投資責任者 黒島 光昭

## さわかみファンドについて

- 経済の大きなうねりをとらえて先取り投資することを運用の基本とし、その時点で最も割安と考えられる投資対象に資産を集中配分します。
- 将来価値から考えて、市場価値が割安と考えられる銘柄に選別投資し、割安が解消するまで持続保有する「パイ・アンド・ホールド型」の長期投資を基本とします。
- 「割安であること」の判断の精度を維持・向上するために、経済全般および個別銘柄について徹底したリサーチ活動を継続します。

当ファンドは、運用の成果について目標とするベンチマークは設定しません。上記のスタイルを一貫し、これを変えることは致しません。当ファンドの運用にあたっては、短期的な成績向上を狙うような無理な投資はしませんが、必要と考えるリスクは敢然と取ります。また、長期的な運用成果を向上させるため、株主総会での議決権行使なども積極的に行ってまいります。

当ファンドの運用方針は長期運用を前提としているため、ファンド資産の激しい変動は運用効率を著しく阻害しますので、短期保有目的でのご購入はご遠慮ください。

## お申込みメモ

リスク	さわかみファンドは、主に国内外の株式や債券など値動きのある有価証券等に投資します。そのため、組入れた有価証券等の価格、外国為替相場等の変動により、当ファンドの基準価額は影響を受けます。これらにより生じた利益および損失は、全て当ファンドの投資者（受益者）の皆さまに帰属することとなります。また、元本および利息の保証はなく、預金保険の対象ではありません。したがって、投資者（受益者）の皆さまの投資された元本は、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その損失に耐えうる以上に当ファンドに対して投資することはご遠慮ください。投資信託は預貯金とは異なります。		
購入時手数料	ありません。	信託報酬	当ファンドの純資産総額に対して、1.10%（税込・年率）です。
信託財産留保額	ありません。		
その他費用・手数料	当ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、売買委託手数料に対する消費税等相当額、先物取引・オプション取引等に要する費用、一部解約金の支払資金の手当を目的とした借入金の利息は、信託財産中から支弁します。※これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。		
留意事項	投資に当たっては、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をよくご覧いただき、ご自身で判断してください。「投資信託説明書（交付目論見書）」のご請求は「ご縁の窓口」（TEL:03-6706-4789）までお申込みください。		

### 【ファンドの委託会社その他の関係法人の概要】

- 委託会社: さわかみ投信株式会社
- 受託会社: 野村信託銀行株式会社
- 販売会社: さわかみ投信株式会社



**さわかみ投信** 株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第328号 一般社団法人 投資信託協会 会員 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員  
〒102-0082 東京都千代田区一番町29-2  
TEL:03-6706-4789 FAX:03-5226-7981 <https://www.sawakami.co.jp/>